好きに勝るものなし



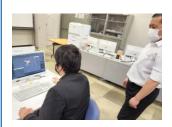
皆さんは、何が得意ですか?自分のことですが、意外とこの問いに答えるのは難しいですよね?でも、明確に答えることができなくてもよいと思います。大切なことは、荒工で探してみることなのですから。仮に荒工での生活でこれというものが見つからなかったとしても、探し続けた時間は必ず皆さんを得意

なもの、好きなことに近づけてくれます。

先週、土曜日の午前中にサッカー部の工業大会、午後は AI 部と3DCG と3D プリンターの放課後コンテンツに参加しました。そこには一生懸命に挑戦している荒工生の姿がありました。スポーツもプログラミングも練習してきたことしか表現できません。どれだけ練習で吸収できるかは、



学ぶ「姿勢」により変わります。そして、「姿勢」は好きかどうかによりますね。



サッカー部は勝つために顧問やコーチの指示をよく聞いて 戦っていました。後半は荒工の時間でしたね。AI 部、放課後 コンテンツでは、顧問や担当の先生方だけでなく、株式会社 Freee や日本電子専門学校の技術者が活動を支援してくれて いました。参加生徒は、プロから学べる時間に休憩時間も忘

れ、作りたいものの実現に向けて挑戦していました。やりたいことに没頭できる 環境が荒工にはあります。**恥ずかしがらずに学びに参加**することが一歩目ですね。

ぶらり、あらこう散歩

【全日】ドローンをプログラミングで制御しようとしている電子 科の生徒。課題研究でロボット制御に挑戦し、ドローンをコントロ ール。ドローンを制御するということは、空の視点を持つというこ とですね。制御方法を説明してくれる生徒に「楽しそうだね」と聞 くと、力強く「楽しいですね」と答えてくれました。新しいものに 触れることは大切です。触れると自然と「仕組みはどうなっている のかな」と考え始めます。仕組みが分かってくると楽しくなります。



意外と「楽しい」「得意」は簡単に見つかるかもしれません。新しい「もの」「仕 組み」に興味をもちチャレンジですね。

【定時】教科書でしっかりと学びを進める。基本的なことですが難しいのが実際です。授業では、教科書を分かりやすく説明するために補助プリントを作成し、学びの焦点化してくれることが多いですよね。ひらがな、カタカナ、漢字、数字、



外国語の沢山の言葉で作られている教科書を理解するのは 本当に難しいですよね。そんな中、教科書を「読み」問いに 向けて「探求」させようとする渡邊先生。難しいことでも積 み重ねることが大切だと感じさせてくれます。さすが!4 年生、次々に答えが出てきていました。

「未来を創る!彩る!荒川工業」